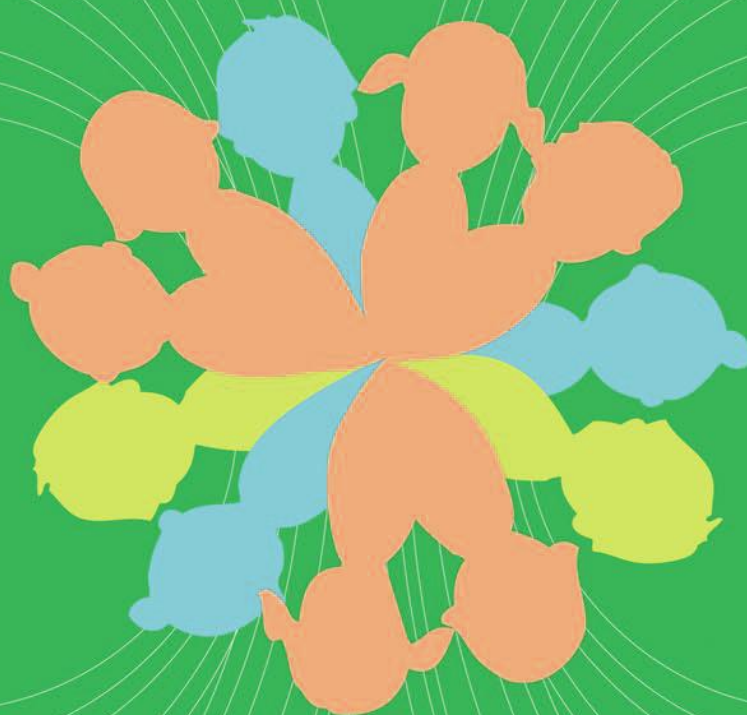


平成21年度採択
大学教育・学生支援推進事業
大学教育推進プログラム

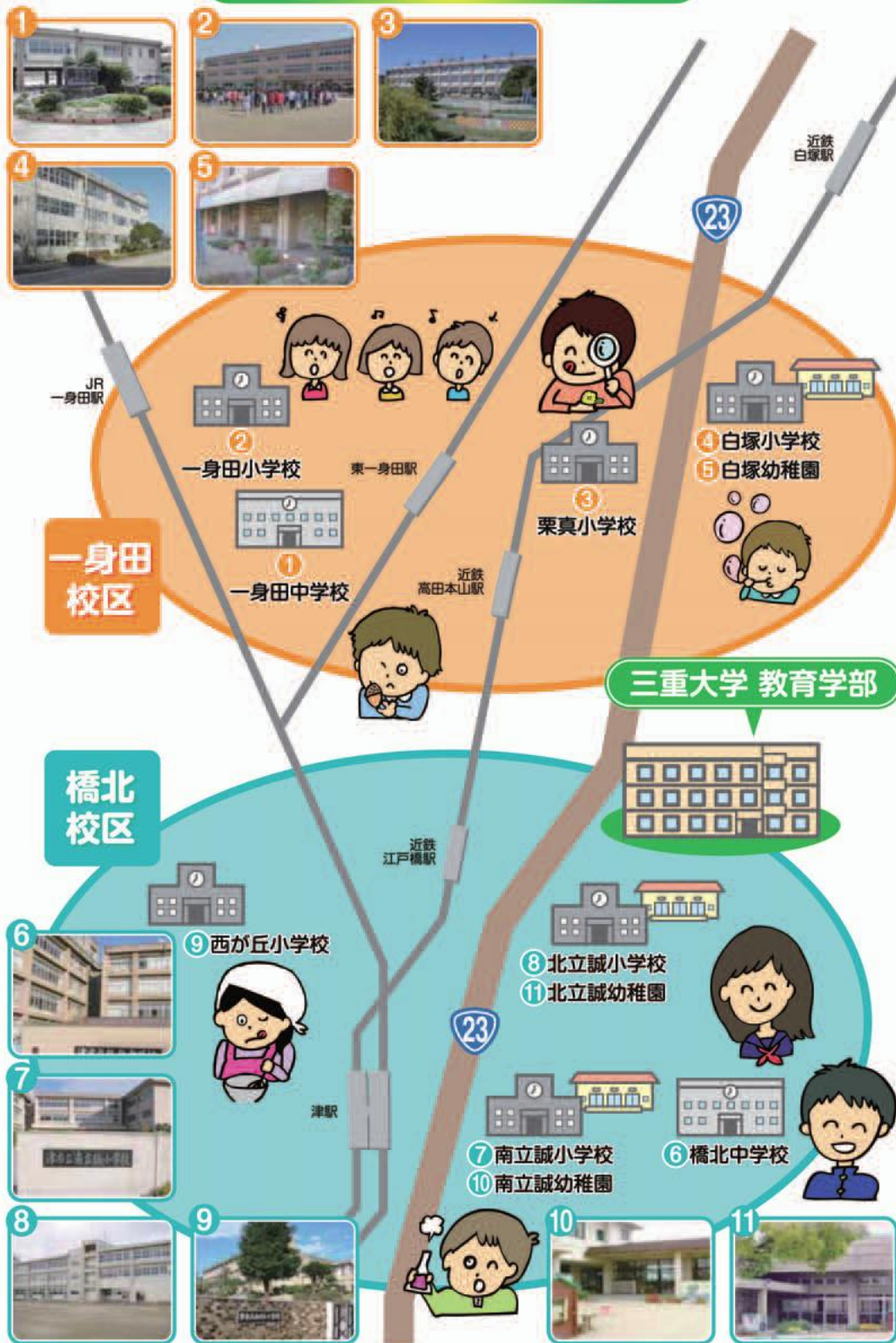
隣接学校園との連携を核とした 教育モデル

“ 多様な教育課題に対応できる教員養成を目指して ”



三重大学 教育学部

大学と隣接する連携中学校区



取組の背景

教職課程の質的水準の向上

大学における組織的指導体制の整備（平成18年中教審答申）
教職課程の改善・充実を図るための5つの方策

- 教職実践演習の新設・必修化
- 教育実習の改善・充実
- 教職指導の充実
- 教員養成カリキュラム委員会の機能の充実・強化
- 教職課程に係わる事後評価機能や認定審査の充実

本学と隣接する一身田中学校区との連携

平成18年より現代GPの支援を受けて、学生教育を含めた幼小
中大の連携の取り組みが学部全体として飛躍的に進展

実践的指導力育成をコアとしたカリキュラム構造を策定

学生の継続的な現場体験を通して、現場や地域の活性化にも寄与しつつ実践的指導力を育成



中学校音楽祭の支援
(中日新聞 2006.10.14)



中学校体育支援
(中日新聞 2006.9.21)



中学校理科支援
(中日新聞 2007.11.13)

人材養成目的

人材養成の理念

三重大学教育学部規程第1条

実践的指導力=学士力

学生に習得させるべき能力

■ 地域と密接な連携を取りながら、豊かな見識、感性、国際性、専門的学識を身につける

■ 様々な教育問題や教育環境の変化に適切に対応できる創造性と問題解決能力を培い、力強くリーダーシップの取れる人材をPBL(問題/課題解決型学習)を通じて養成

■ 全学前期の発達理解と教科の専門性

■ 小・中二校種の免許取得を卒業要件

■ 入学段階から卒業までの間に多様で多彩な学校現場と関わり、活動を企画・実践する経験を保証

実践的指導力育成をコアとしたカリキュラム構造を策定

教育学部のカリキュラム構造



取組の目的

目的

- 隣接校区の学校園(2中学校、6小学校、3幼稚園)との間で、連携協力体制をさらに拡大・強化し、これらの学校園における学生の現場体験を核とした教育モデルを構築
- 体系的で幅広い学びを通して課題探求能力を強い、多様な教育課題に対応できる教員を養成(学士力)
 - ①教育現場の諸問題に対する学生教育を伴った支援活動
 - ②授業の中で子どもを中心とした地域連携を進めるプログラムを作成
 - ③連携校との協力体制による教育実習の実施

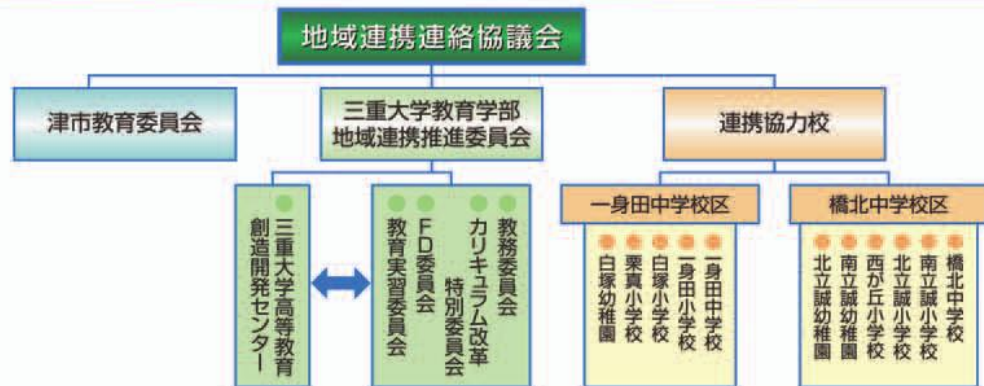
取組の具体的内容



取組の達成目標

- **教育現場での教育実地活動時間の増大**
 - 初年次から全学年にわたって、年間20日で20時間以上(教育実習を除く)
- **教員になるための資質に関する学生の意識向上**
 - 「学びの履歴」を軸とした教職支援
- **本学部生に対する学校現場からの信頼度の向上**
 - 連携協力校の全教員からの信頼度100%達成
- **附属学校と隣接校区の学校園のみで教育実習体制の構築**
 - 大学教員と実習校の教員が連携して指導

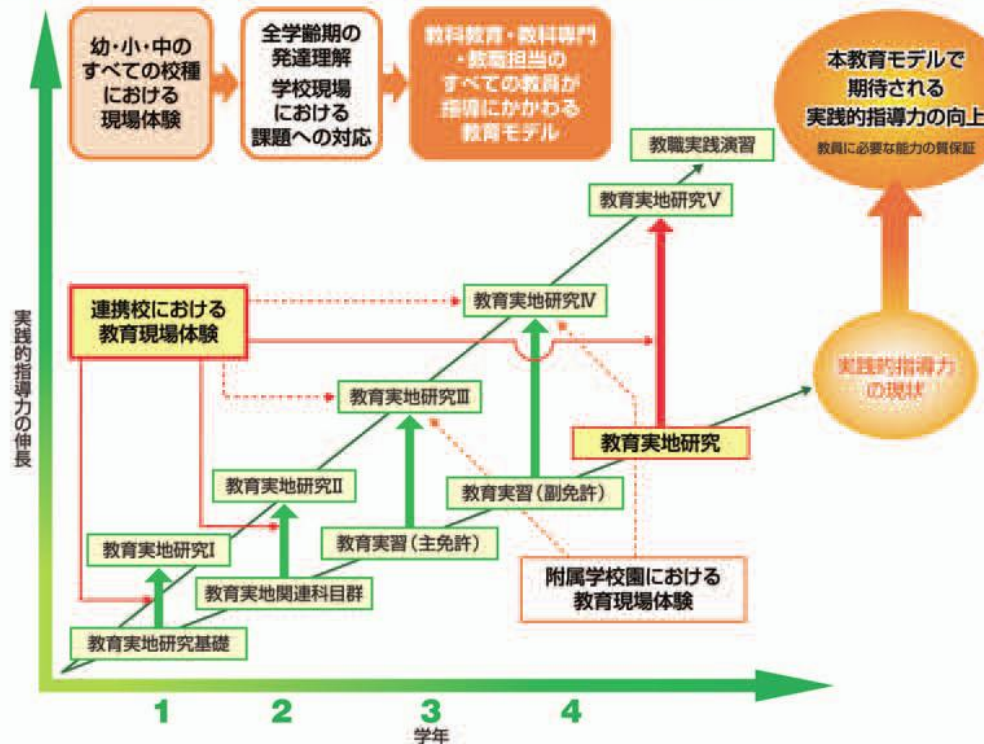
取組の実施体制



取組の概要

- これまでに、実践的指導力を涵養する場として三重大学と隣接する一身田中学校区の学校園との連携が進展
- この実績を基盤として、隣接するもう一つの学校区である橋北中学校区の学校園を含め連携を拡大し、2つの中学校区(2中学校、6小学校、3幼稚園)および教育委員会との連携協力体制を深化させ、**実地研究を核とした教員養成の教育モデルを構築**
- **多様な教育課題への支援**に参加しながら、教員としての資質形成に結びつく体系的で幅広い学びを保證することによって、質の高い教員を養成
- 学生が隣接学校現場の多様な活動に参加し、大学での省察と往還を通して、**教育現場の課題を発見・解決する体験**をもち、実践的指導力を育成

隣接学校園との連携を核とした教育実践プラン





 三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

三重大学教育学部
大学教育推進プログラム担当

TEL&FAX 059-231-9269
<http://chiiki.gp.edu.mie-u.ac.jp/>